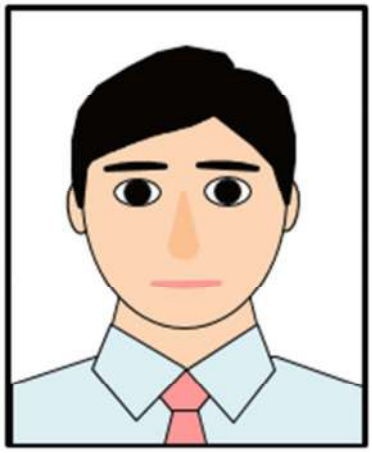
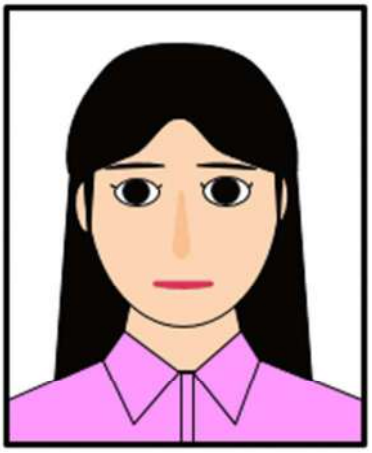
適切な写真例





・上三分身のもの

・申請者本人のみが撮影されたもの

・6 ヶ月以内に撮影されたもの

・縁なしで各寸法を満たしたもの

・無帽で正面を向いたもの

・背景、影がないもの

・顔の輪郭や服装が同系色で同化していないもの

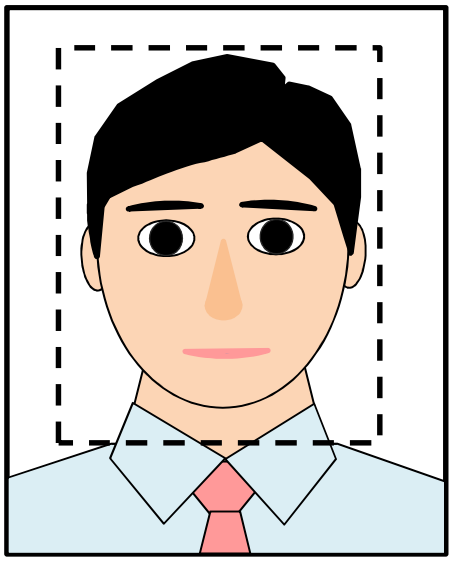
※肌の色と背景が似ている色となっていたり、白髪の方で背景が白色だったり、
水色のシャツに水色の背景などになっていると、写真を免状に張り付けた際、
同化してしまう場合があります。
その場合は再提出をお願いすることになりますのでご注意をお願いします。

・髪や肌に光の反射がないもの、明るさが左右均等のもの

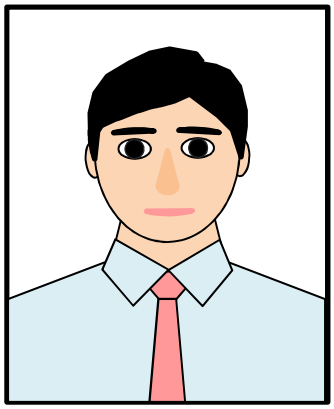
※照明の光の加減等で髪や肌の一部が明るくなっていたり、左右の明るさが異なっていると、写真を免状に張り付けた際、明るい部分が欠ける（写らない）場合があります。
その場合は再提出をお願いすることになりますので、均等の明るさで、反射等が無い写真のご提出をお願いします。

不適切な写真例（男性・イメージ）

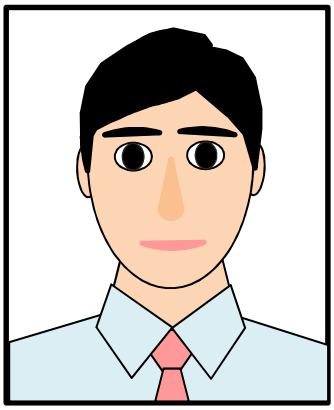
写真が大きすぎる
例：写真全体に対する顔の比率は良くても、切り抜いた場合の顔が大きすぎる
（点線が切り取り線）



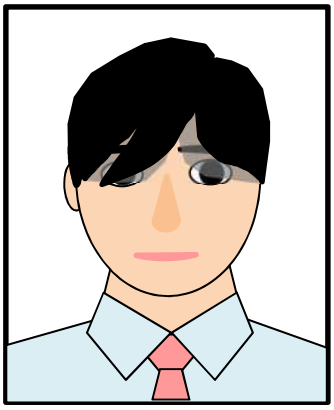
人物が小さすぎる
写真が小さい



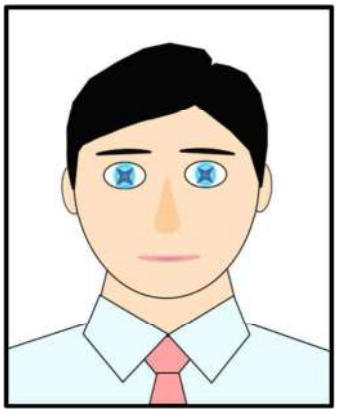
画像を加工している
（例：細くしている）



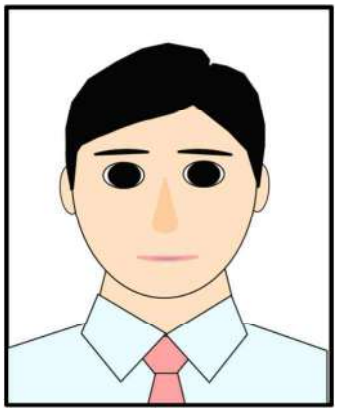
髪の毛で眼が隠れている
目の周りが影で覆われている



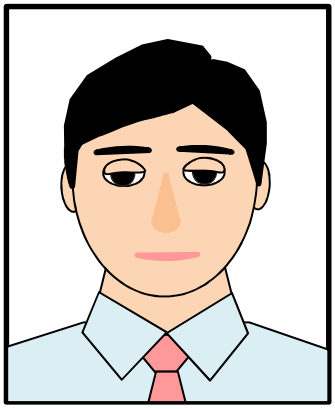
カラーコンタクトで瞳に絵柄が入っている



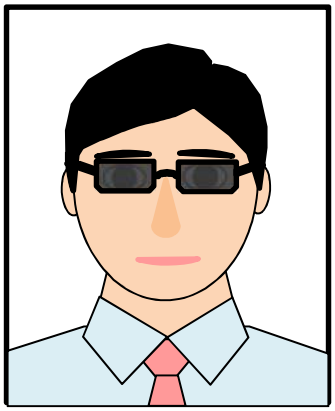
カラーコンタクトで瞳の大きさが著しく変わっている



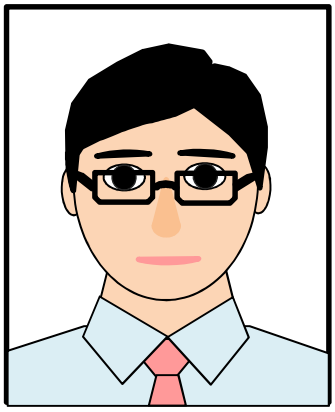
半目、目をつぶっている



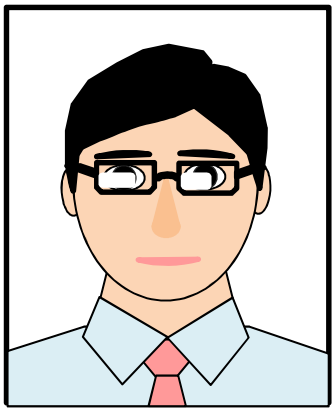
サングラス、濃色レンズの眼鏡着用（人物の特定が困難）



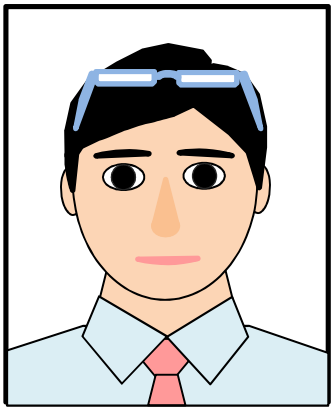
眼鏡のフレームが目に掛っている



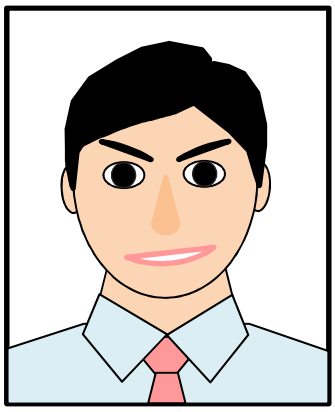
眼鏡のレンズが光って目が見えない



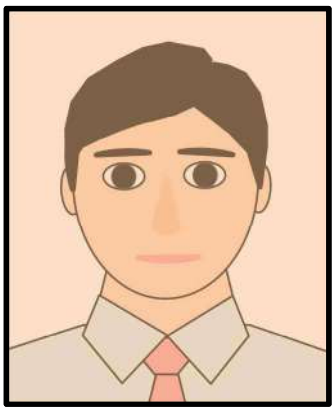
眼鏡を頭に載せている



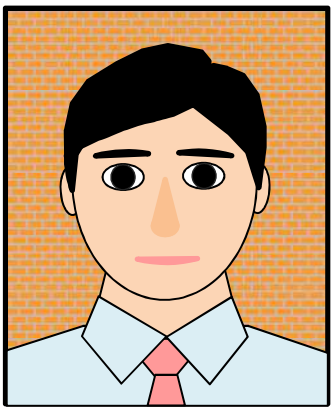
平常の表情と異なる
表情を作りすぎている
例：歯が見える笑顔



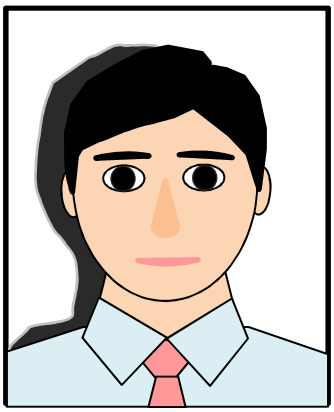
画像が鮮明でない
（全体がぼやけている）



背景がある
（壁紙の柄、カーテン等）

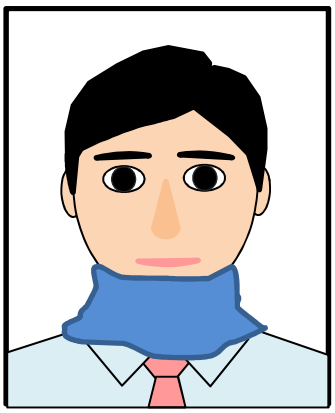


背景に影が写っている

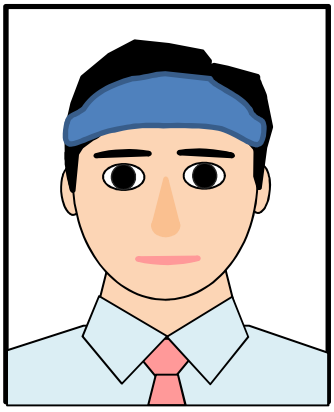


マスクで顔が隠れている

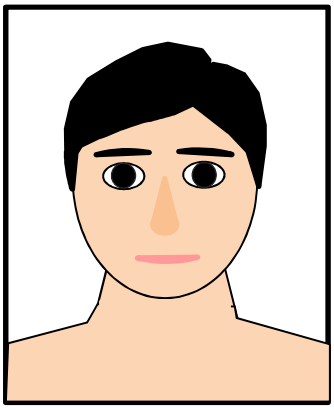
マフラー、服の襟、髪の毛
等で顔が隠れている



ヘアバンド、バンダナ等を
つけている

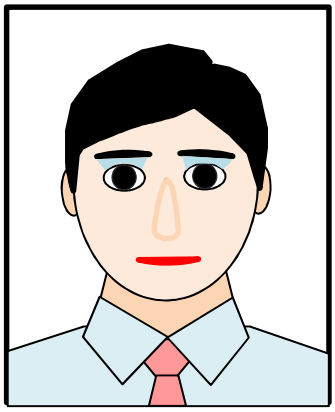


上半身が裸に見える。
（着衣の確認が必須）



顔が横向き
（正面を向いていない）

化粧をしていて、申請者と
確認できない

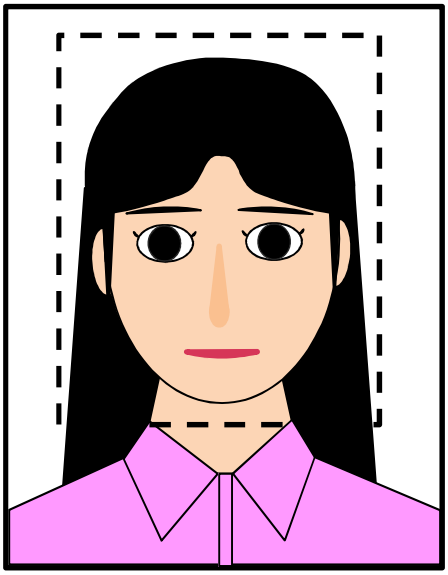


その他不適正とされるもの

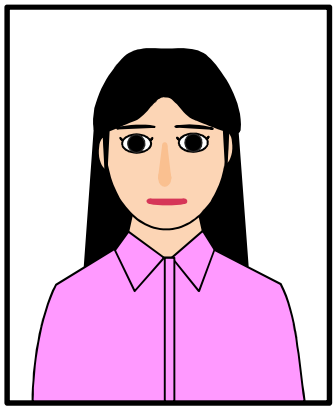
- スナップ写真を切り抜いたとみられるもの
- 画像の解像度が荒すぎるもの
- 鞄やストラップのベルトが写っているもの
- 背景と服装が同系色で区別がつきにくいもの
- 背景色がきつ過ぎて人物を特定しづらいもの
- 画像に加工した跡が見られるもの
- 汚れやインクの染みがあるもの・家庭で印刷し、インクの定着が悪く、少し擦るだけでインクが取れるもの

不適切な写真例（女性・イメージ）

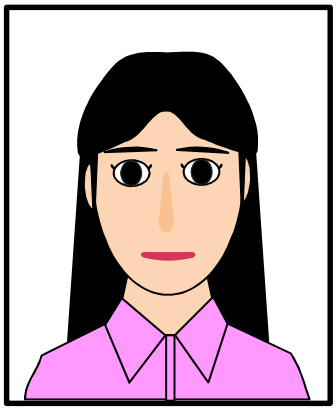
写真が大きすぎる
例：写真全体に対する顔の比率は良くても、切り抜いた場合の顔が大きすぎる
（点線が切り取り線）



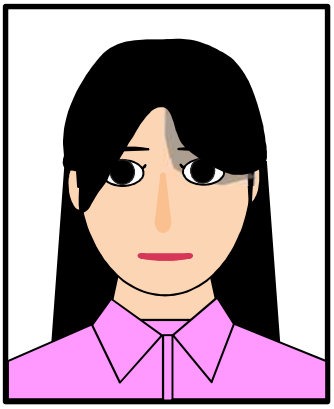
人物が小さすぎる
写真が小さい



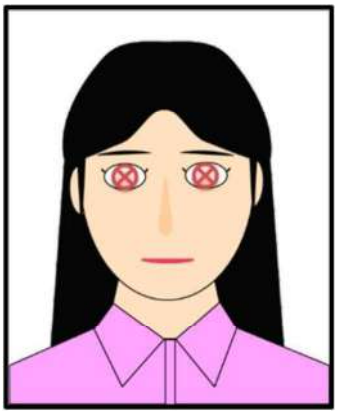
画像を加工している
（例：細くしている）



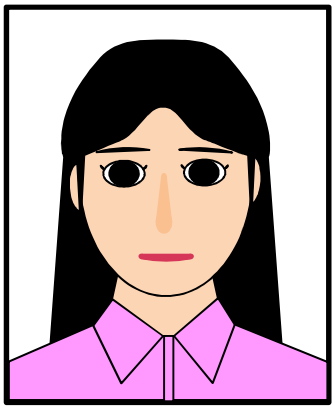
髪の毛で眼、眉が隠れている
目の周りが影で覆われている



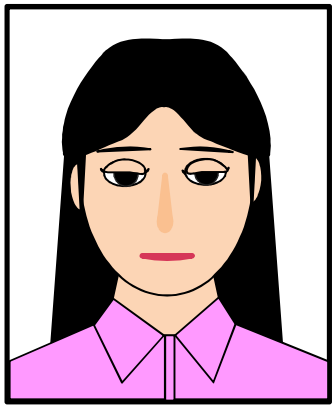
カラーコンタクトで瞳に絵柄が入っている



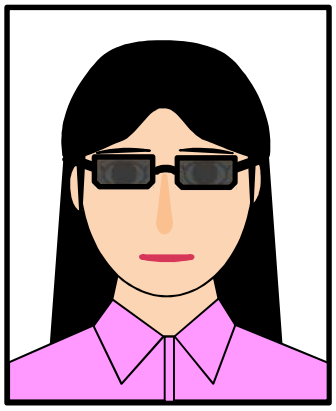
カラーコンタクトで瞳の大きさが著しく変わっている



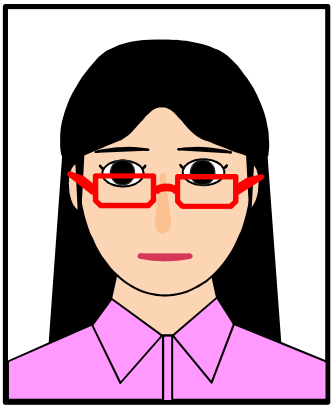
半目、目をつぶっている



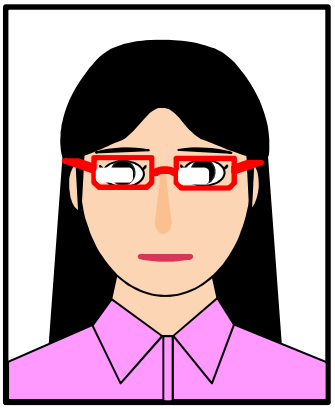
サングラス、濃色レンズの眼鏡着用（人物の特定が困難）



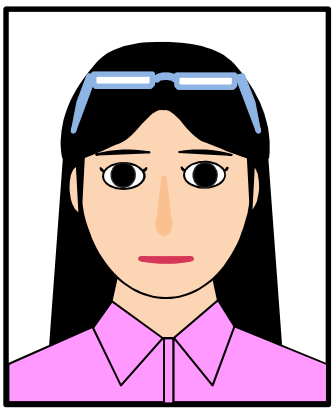
眼鏡のフレームが目に掛っている



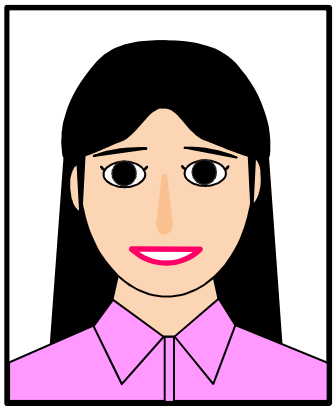
眼鏡のレンズが光って目が見えない



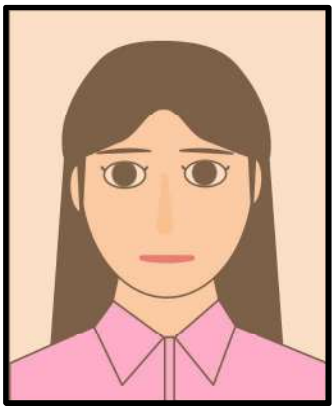
眼鏡を頭に載せている



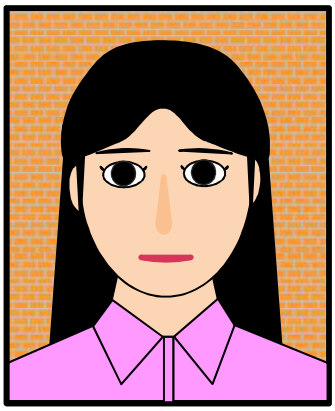
平常の表情と異なる
表情を作りすぎている
例：歯が見える笑顔



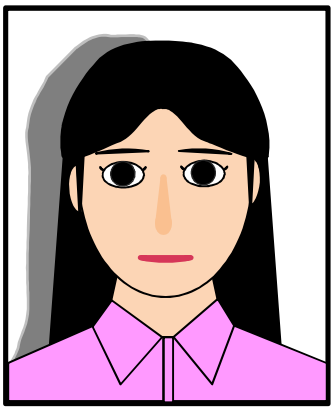
画像が鮮明でない
（全体がぼやけている）



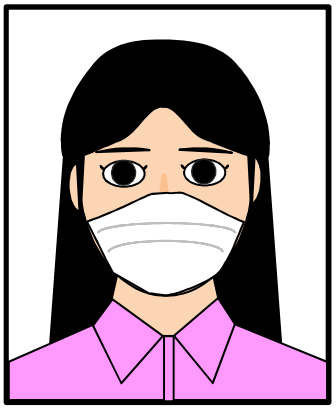
背景がある
（壁紙の柄、カーテン等）



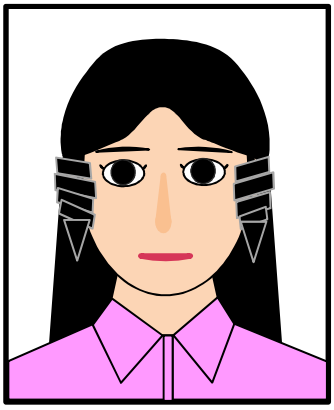
背景に影が写っている



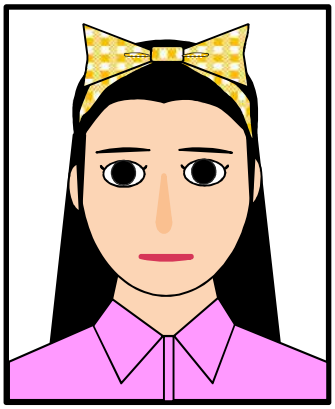
マスクで顔が隠れている



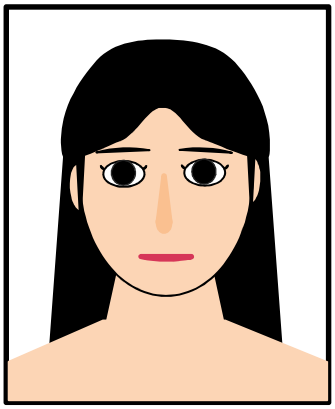
マフラー、服の襟、髪の毛
等で顔が隠れている



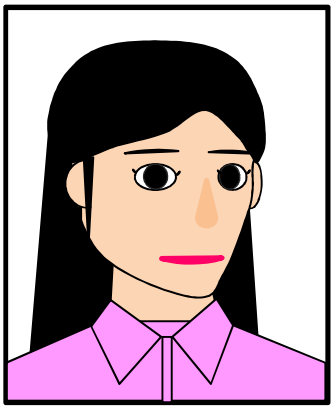
大きなヘアバンド、バンダ
ナ、リボン等をつけている



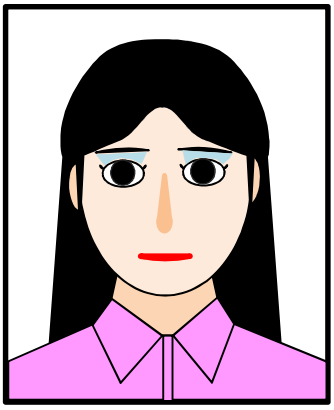
上半身が裸に見える
（着衣の確認が必須）



顔が横向き
（正面を向いていない）



化粧をしていて、申請者と
確認できない



その他、不適切とされるもの

- スナップ写真を切り抜いたとみられるもの
- 画像の解像度が荒すぎるもの
- 鞄やストラップのベルトが写っているもの
- 背景と服装が同系色で区別がつきにくいもの
- 背景色がきつ過ぎて人物を特定しづらいもの
- 画像に加工した跡が見られるもの
- 汚れやインクの染みがあるもの
- 家庭で印刷し、インクの定着が悪く、軽く擦るだけでインクが取れるもの